NIE実践報告

1．タイトル：**☆新聞記事を使い、わかりやすく相手に伝えるには**

2．学校名

長野県上田市立菅平中学校

3．実践者名（代表者名）

岡部　仁

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択理科　生徒数5人

6．単元（本時の学習課題）名

理科は感動だ！ノーベル化学賞受賞の下村脩先生の業績、緑色蛍光たんぱく質(GFP)を学ぶ~　新聞記事を使い、

7．目標(狙い)

本校の中学3年生は選択理科または選択数学のどちらかを受講することになっている。本単元では選択理科受講生が、選択数学受講生を対象に新聞記事などをもとに学習してきた内容を伝える形式で行う。

8．評価の視点

相手にわかりやすく伝えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10時間中10時間目

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

●ノーベル化学賞を受賞した下村先生の新聞記事（家族総出でオワンクラゲを捕らえたこと、生い立ち）を紹介する。筑波大学菅平高原センターの協力の下、GFPを使った遺伝子組み換え実験を紹介。
培地を「ごはん」、アンピシリンを「毒」、アンピシリン分解酵素を「薬」、アラビノースを「アメ」などに置き換え、図を用いて分かりやすく伝えることを心掛けた。
●選択数学の生徒は実験結果を予想し、根拠を持って発表。
「培地に何が入っているかによって、大腸菌が増えるかどうか決まってくる。毒が培地にあれば、大腸菌は生きられないはずだ。アメがあれば、発色するはずだ」
●この実験を通して学んだことを選択理科受講生が発表。
「発色するかどうか不安だったが、結果を見て美しく発色してよかった」、新聞記事に掲載された医療への発展と下村先生の言葉「難しいからやらないという発想が一番嫌い」など印象に残ったことを発表。
●選択数学の生徒は、内容を理解できたか。発表した選択理科の生徒は、発表を通して学んだことを感想に書き発表。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分が理解していないと、相手に伝わらないこと。みんなが分かる言葉で発表するよう心掛けた。相手に自分の考えを伝える難しさと楽しさを学んだ。

12．成果と課題

成果として新聞は、翌日にはまとまった記事として内容が掲載されるので、短時間で探している記事を見つけ出すことができる。下村脩先生のノーベル学賞受賞の理由、医療への応用、人柄、エピソードを5紙の中から選び、大事だと思う所を線を引かせ、発表させた。図も分かりやすいものがあったので医療への応用を説明するのに役立った。
課題は、今回使った5紙の新聞記事は図書館でコピーしたものである。NIE実践校でも年間通してすべての新聞を使えるのではないので、号外が出るような記事は、各校に配布していただけるとありがたい。